

◇ばんどう文芸◇

短歌

今井 清 選

片言の日本語話す連れも居て水戸の観梅ゆっくり歩く

長 須 平田とみい

料峭とせる藪陰の花椿小道をくれば重咲く見ゆ

沓 掛 木村 愛子

ながきこと背負いし小さき荷小さげど下ろして無碍のうれしさのあり

矢 作 富山久美子

風邪引きの夫を遠去け贅沢な一人ランチの寂しきことよ

生 子 高島みさ子

降り続く雨を眺めて茶を汲みぬふたりで語る記念日の今日

山 栗原やエ子

おとづる人のなき日は黙々と我を忘れてレースを編みぬ

沓 掛 倉持かよ子

鉢巻を解けず畑に残される白菜哀れ出来はいいのに

内野山 木村 仁

「ごめんね 休業中です」 貼り紙に頭ちくるいつもの笑顔の店主 駒 踔 内海 妙子

春嵐土巻き上げて校庭へ遊ぶ児童ら巨木に隠れ

平八新田 吉岡 耿

枯れ草の中を探して路の臺一つ見つけて孫と喜ぶ

長 須 藤井 久子

次々と我が家に盆栽運び来る友あり梅散り桜が開く

長 須 倉持 春子

きさらぎの朝の六時の風運び今日も聴こえる阿弥陀寺の鐘

長 谷 荒井 勝

干されたる軍手の十指風に揺れ冬さようならと言っているらし 矢 作 茂呂 忠男

朝もやに春告げ鳥の声があり今朝も平和だ深呼吸する

岩 井 五十嵐三男

【評】一首目、外人労働者が村にもいるという現代世相が詠まれ面白い。二首目、「料峭」は春の肌寒いという意味。艶と声調のよく品格のある歌。三首目、どんな荷だかは読者に任せているが、共感できる。「無碍」は自由という仏教用語だが巧い。四首目、「贅沢」と「寂しい」という感情の転換がよく分かる。五首目、記念日は読者が想像したい。茶を汲むだけの質素なことに味がある。

短歌の作品を募集します！

皆さんからの短歌を広く募集します。投稿される方は、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、掲載希望月の前月20日まで届くように選者宛にお送りください。なお、俳句につきましては、当面の間お休みさせていただきます。

選者 今井 清 〒3006-0604 幸田新田435 ☎0297(35)2864